

幕末維新を再検討する

西郷、江藤、会津龍造寺



平成30年
10/28 (日)

11:00~16:00 ※昼休憩、小休憩あり

参加費:1000円 ※予約不要

講師・ゲスト

大橋長中
山本南西
円城寺

靖政雄

格明義豪介

会場

佐賀大学(本庄キャンパス)
経済学部講義棟 第4講義室

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町本庄1

●主催: 佐賀戦国研究会 ☎080-5242-4015
✉sagasengoku@live.jp
📍sagasengoku

●後援: 佐賀新聞社 / サガテレビ

詳細は裏面へ...

いざ、歴史の再検討!

佐賀藩は知性を閉ざさず、積極的に「外の世界や情報」を学び、取り入れることで、幕末明治維新をリードしてきました。その姿勢に学び、あえて外部・遠方から専門家・講師をお招きし、時代の見識を深めようとする市民企画です。佐賀藩の「外」の歴史から、幕末明治維新期の動静を学び、客観的な再検討を試みます。

ゲスト

円城寺雄介氏

佐賀県庁職員。救急医療のICT変革、ドクターヘリ導入で知られる。総務省地域情報化アドバイザー、また災害時に備えたドローン活用実験やIoTの実証を行う。先祖は龍造寺隆信に使えた龍造寺四天王、円城寺信胤。最近では真田丸トークショーなどNHK大河ドラマと連携した企画の佐賀県誘致も精力的に行っており、その多岐に渡る活躍は全国的に注目されている。TBS『夢の扉』へ出演、また『日本を元気にする88人』(Forbes Japan)、2017年4月号(小学館、2016年)がある。著書に『原行そのろくどすか?』(小学館、2016年)がある。

演題&講師紹介

『明治天皇の兎狩り』 大山 格氏 (東京都)

著述業、歴史研究者。日本大学大学院文学研究科博士前期課程史学専攻修了。歴史ライターとして雑誌『歴史群像』をはじめ各歴史雑誌に寄稿、得意分野は幕末維新史および戦国史。戦史と政局面の両側面からの執筆記事が多い。2016年2月から東京藝術大学外苑キャンパスにおいて一般教養講座『明治天皇の御遊行』を開講済。2018年3月には企画展『平成30年遊就館特別展 靖国神社御創立百五十年展前編―幕末から御創建』の監修を務めた。

『会津龍造寺家の歴史』 橋本靖明氏 (東京都)

防衛省防衛研究所政策研究部長。会津に身柄を預けられた龍造寺伯庵の末裔。金沢大学卒業、慶応義塾大学大学院修士(法学修士)、蘭ライデン大学博士候補、宇宙政策委員会委員(2013)、2014年、国際宇宙法学会理事(2013)、2016年。2016年5月、佐賀城本丸歴史館にて『会津龍造寺家の歴史』について講演。

『上野戦争と西郷隆盛』 長南政義氏 (福岡県)

戦史研究者。論文に『史料紹介 陸軍大将松川敏胤の手帳および日誌―日露戦争前後の参謀本部と大正期の日本陸軍』、『國學院法政論叢』第30輯(國學院大學大学院、2009年)など多数。著書に『新史料による日露戦争陸戦史覆さるる通説』(並木書房、2015年)、『日露戦争第三軍関係史料集 大庭二郎日記』(井上幾太郎日記に見る旅順・奉天戦) (国書刊行会、2014年)、『坂の上の雲の5つの疑問』(並木書房、2011年、共著)がある。熊本市主催講演会・桜美林大学などで講師を務める。近年は雑誌『忘却の日本史』や『歴史群像』等へ執筆多数。

『戊辰戦争と江藤新平』 中西豪氏 (福岡県)

歴史研究者。九州大学文学部卒業。専攻は朝鮮史。研究テーマは千辰戦争(所謂豊臣秀吉の朝鮮侵略戦争)、学術論文としては『朝鮮側史料に見る倭城―その理解と真相』(『朝鮮學報』第125輯)がある。歴史ライターとしては筑紫君磐井の乱から西南戦争、東漢光武帝の中興事業から朝鮮戦争に亘る日本・東アジア諸地域の軍事関連記事を中心に雑誌『歴史群像』に多数執筆。著書に『史伝 鍋島直茂―「葉隠」の名将』(学研M文庫)、『実録花の慶次 武将列伝』(歴史群像シリーズ・ムック)、監修書に『戦国武器甲冑事典』(ニバーサルブリッシング)がある。

ACCESS MAP

佐賀大学(本庄キャンパス)
〒840-8502 佐賀市本庄町本庄1番地

- 電車
JR佐賀駅より車で約10分
- バス
佐賀駅バスセンター<4番のりば>から
佐賀市営バスで約15分・<佐大前>下車
- 自動車
高速道路(佐賀大和IC)より車で約20分
※近くの有料駐車場をご利用ください。

